



2025年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年4月24日

上場会社名 株式会社 不二家
コード番号 2211 URL <https://www.fujiya-peko.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 総務人事本部長
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-5978-8100
(氏名) 河村 宣行
(氏名) 佐野 正樹

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第1四半期の連結業績(2025年1月1日～2025年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第1四半期	28,051	3.5	1,010	△8.6	1,172	△4.7	784	△6.0
2024年12月期第1四半期	27,102	5.4	1,105	16.0	1,230	10.9	834	22.0

(注) 包括利益 2025年12月期第1四半期 231百万円 (△84.9%) 2024年12月期第1四半期 1,535百万円 (48.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第1四半期	30.43	—
2024年12月期第1四半期	32.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第1四半期	88,257	62,303	65.1
2024年12月期	90,466	63,067	64.0

(参考) 自己資本 2025年12月期第1四半期 57,458百万円 2024年12月期 57,913百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2025年12月期	—				
2025年12月期(予想)		0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	57,000	7.2	1,200	10.3	1,700	2.9	900	34.92
通期	118,000	7.3	2,500	8.8	3,200	2.2	1,800	69.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年12月期1Q	25,784,659 株	2024年12月期	25,784,659 株
2025年12月期1Q	9,053 株	2024年12月期	9,000 株
2025年12月期1Q	25,775,628 株	2024年12月期1Q	25,775,880 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2025年1月1日～3月31日）におけるわが国の経済は、雇用・所得環境が改善する中、政府の各種政策の効果により景気は緩やかに回復しております。その一方で、食品業界においては、原材料価格の高騰や人件費、物流費の上昇に加え、値上げに対する消費者の節約志向の高まりにより、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況下にあつて当社グループは、お客様により良い商品と最善のサービスの提供を心掛け、売上と利益の確保につとめてまいりましたが、低迷している中国経済の影響を受けた結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は280億51百万円（対前年同期比103.5%）、営業利益は10億10百万円（対前年同期比91.4%）、経常利益は11億72百万円（対前年同期比95.3%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億84百万円（対前年同期比94.0%）となりました。

当社グループのセグメントの概況は次のとおりであります。

		当第 1 四半期連結累計期間		前第 1 四半期連結累計期間		対前年 同期比	増減
		2025年 1 月 1日から 2025年 3 月31日まで		2024年 1 月 1日から 2024年 3 月31日まで			
		売上高	構成比	売上高	構成比		
洋菓子事業		百万円	%	百万円	%	%	百万円
	洋菓子	6,242	22.3	6,152	22.7	101.5	89
	レストラン	1,516	5.4	1,454	5.4	104.3	62
	計	7,759	27.7	7,607	28.1	102.0	151
製菓事業	菓 子	18,459	65.8	17,466	64.4	105.7	992
	飲 料	921	3.3	1,209	4.5	76.2	△287
	計	19,380	69.1	18,675	68.9	103.8	705
	その他	911	3.2	819	3.0	111.2	91
合 計		28,051	100.0	27,102	100.0	103.5	948

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

<洋菓子事業>

当社単体の洋菓子事業においては、洋菓子チェーン店にて季節や行事などのイメージを月ごとに色で表現した『ショートケーキ12の色物語』シリーズのほか、3月には旬の素材を使用した週末限定製品を週替わりで販売し、購買喚起に取り組みました。洋菓子のV I（ビジュアルアイデンティティ）更新に基づき、これまで79店の店舗改装を実施するとともに、新業態店舗「ペコちゃんmilkyドーナツ」や「FUJIYA CONFECTIONERY」ブランドの店舗を出店し、百貨店においては季節限定イベントを開催するなど、新規顧客の獲得につとめました。また、冷凍スイーツ自動販売機については、企業とコラボレーションした新製品の投入や既存製品の品質改良により、商品力の強化をはかりました。なお、当第1四半期連結会計期間末における不二家洋菓子店の営業店舗数は879店（前年同期差51店減）となっております。

広域流通企業との取り組みについては、外食チェーン企業向けに生産性の高い製造ラインを活用した製品や当社の技術力を活かした製品の提案、北米への冷凍ケーキの輸出を行い、売上の向上につとめました。

上記の結果、単体の洋菓子事業の売上は、前年同期の実績を上回りました。

レストラン事業では、ステーキメニューや低単価のサイドメニューの追加、飲料メニューの充実により、ディナーの時間帯の集客を強化し、客単価の向上をはかりました。その結果、売上は前年同期の実績を上回りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における洋菓子事業全体の売上高は77億59百万円（対前年同期比102.0%）となりました。利益面では、新たな生産設備の導入による省人化、効率化の取り組みにより、収益性の改善を進めております。

<製菓事業>

当社単体の菓子事業においては、「カントリーマアム」、「ホームパイ」、「カントリーマアムクリスピー」の3品のパッケージカラーを活かした陳列により大袋製品の売場の拡大をはかりました。『ルック』については、素材にこだわったワンランク上の製品として「プレミアムルック」を、『ハート』シリーズについては「ハートクッキー（バターアーモンド）」を発売し、ブランド強化につとめるとともに、テレビコマーシャルや各種キャンペーン等の販売促進活動を実施し、売上は好調に推移いたしました。原材料価格の高騰に対しては、一部商品について製品価格の見直しや内容量の変更等を実施したほか、主力製品の拡販や生産ラインの稼働促進による生産性の向上をはかることにより対応しております。

上記の結果、単体の菓子事業の売上は、前年同期の実績を上回りました。

飲料事業では、果実原料価格の高騰に対して、主力製品の価格改定を実施した影響により、売上は前年同期の実績を下回ったものの、利益面では改善をはかることができました。

不二家（杭州）食品有限公司においては、中国国内の景気低迷の影響が大きく、売上は前年同期の実績を下回りました。なお、新規設備を導入して前期より製造を開始したグミ製品の拡販等に注力し、売上確保に取り組んでまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における製菓事業全体の売上高は193億80百万円（対前年同期比103.8%）となりました。

<その他>

キャラクターグッズ販売事業、ライセンス事業、不動産賃貸事業及び(株)不二家システムセンターのデータ入力サービスなどの事務受託業務の売上高は9億11百万円となりました。

（2）財政状態に関する説明

流動資産は316億6百万円で、主に受取手形及び売掛金の減により前連結会計年度末に比べ37億99百万円の減少となりました。固定資産は566億51百万円で、主に投資その他の資産のその他に含まれる関係会社出資金の増により、前連結会計年度末に比べ15億91百万円の増加となりました。この結果、総資産は882億57百万円で前連結会計年度末に比べ22億8百万円減少いたしました。

また、流動負債は230億35百万円で、主に支払手形及び買掛金やその他に含まれる設備電子記録債務の減により前連結会計年度末に比べ14億20百万円減少いたしました。固定負債は29億18百万円で、前連結会計年度末並みとなりました。この結果、負債は合計259億53百万円で、前連結会計年度末に比べ14億45百万円減少いたしました。

純資産は623億3百万円で、主に為替換算調整勘定や非支配株主持分の減により前連結会計年度末に比べ7億63百万円減少いたしました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の業績予想につきましては、2025年2月12日に発表した予想の変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,371	9,770
受取手形及び売掛金	17,621	12,035
商品及び製品	4,243	4,395
仕掛品	478	645
原材料及び貯蔵品	3,706	3,943
その他	1,158	985
貸倒引当金	△173	△169
流動資産合計	35,406	31,606
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,329	13,221
機械装置及び運搬具（純額）	14,671	14,327
土地	7,390	7,390
リース資産（純額）	899	922
その他（純額）	3,617	3,951
有形固定資産合計	39,908	39,813
無形固定資産		
その他	1,669	1,600
無形固定資産合計	1,669	1,600
投資その他の資産		
投資有価証券	6,858	6,612
繰延税金資産	1,216	1,373
敷金及び保証金	1,998	1,996
退職給付に係る資産	677	675
その他	2,857	4,705
貸倒引当金	△126	△125
投資その他の資産合計	13,481	15,238
固定資産合計	55,060	56,651
資産合計	90,466	88,257

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,493	7,935
短期借入金	3,960	3,960
リース債務	199	196
未払金	3,112	3,147
返金負債	2,544	2,562
未払法人税等	893	749
賞与引当金	499	1,152
その他	4,752	3,330
流動負債合計	24,455	23,035
固定負債		
リース債務	564	587
繰延税金負債	255	224
退職給付に係る負債	1,258	1,265
役員退職慰労引当金	70	71
その他	793	769
固定負債合計	2,943	2,918
負債合計	27,399	25,953
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,280	18,280
資本剰余金	4,060	4,060
利益剰余金	32,339	32,351
自己株式	△17	△17
株主資本合計	54,662	54,673
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	279	269
繰延ヘッジ損益	4	△0
為替換算調整勘定	2,003	1,582
退職給付に係る調整累計額	962	934
その他の包括利益累計額合計	3,250	2,785
非支配株主持分	5,153	4,844
純資産合計	63,067	62,303
負債純資産合計	90,466	88,257

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
売上高	27,102	28,051
売上原価	17,716	18,387
売上総利益	9,386	9,663
販売費及び一般管理費	8,280	8,652
営業利益	1,105	1,010
営業外収益		
受取利息	13	13
受取配当金	30	39
持分法による投資利益	68	95
その他	31	61
営業外収益合計	143	210
営業外費用		
支払利息	3	11
支払手数料	-	19
その他	15	16
営業外費用合計	18	47
経常利益	1,230	1,172
特別利益		
固定資産売却益	0	0
関係会社株式売却益	300	282
特別利益合計	300	282
特別損失		
固定資産売却損	0	-
固定資産廃棄損	11	101
特別損失合計	11	101
税金等調整前四半期純利益	1,519	1,354
法人税、住民税及び事業税	644	656
法人税等調整額	△102	△168
法人税等合計	542	487
四半期純利益	976	866
非支配株主に帰属する四半期純利益	141	82
親会社株主に帰属する四半期純利益	834	784

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
四半期純利益	976	866
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	86	△24
為替換算調整勘定	466	△556
退職給付に係る調整額	△15	△28
持分法適用会社に対する持分相当額	19	△25
その他の包括利益合計	558	△634
四半期包括利益	1,535	231
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,238	319
非支配株主に係る四半期包括利益	296	△87

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	洋菓子事業	製菓事業	計				
売上高							
洋菓子	6,152	—	6,152	—	6,152	—	6,152
レストラン	1,454	—	1,454	—	1,454	—	1,454
菓子	—	17,466	17,466	—	17,466	—	17,466
飲料	—	1,209	1,209	—	1,209	—	1,209
その他	—	—	—	770	770	—	770
顧客との契約から生じる収益	7,607	18,675	26,282	770	27,053	—	27,053
その他の収益	—	—	—	49	49	—	49
外部顧客に対する売上高	7,607	18,675	26,282	819	27,102	—	27,102
セグメント間の内部売上高	—	83	83	118	202	△202	—
計	7,607	18,759	26,366	937	27,304	△202	27,102
セグメント損益(△は損失)	△205	2,360	2,155	157	2,313	△1,207	1,105

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、キャラクターグッズ等の通信販売、ライセンス事業、不動産事業及び事務受託業務等を含んでおります。

2 セグメント損益(△は損失)の調整額△1,207百万円には、その他の調整△7百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,199百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用であります。

3 セグメント損益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	洋菓子事業	製菓事業	計				
売上高							
洋菓子	6,242	—	6,242	—	6,242	—	6,242
レストラン	1,516	—	1,516	—	1,516	—	1,516
菓子	—	18,459	18,459	—	18,459	—	18,459
飲料	—	921	921	—	921	—	921
その他	—	—	—	859	859	—	859
顧客との契約から生じる収益	7,759	19,380	27,139	859	27,999	—	27,999
その他の収益	—	—	—	51	51	—	51
外部顧客に対する売上高	7,759	19,380	27,139	911	28,051	—	28,051
セグメント間の内部売上高	—	64	64	114	178	△178	—
計	7,759	19,444	27,204	1,025	28,229	△178	28,051
セグメント損益(△は損失)	△394	2,431	2,036	179	2,216	△1,205	1,010

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、キャラクターグッズ等の通信販売、ライセンス事業、不動産事業及び事務受託業務等を含んでおります。

2 セグメント損益(△は損失)の調整額△1,205百万円には、その他の調整△2百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,202百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用であります。

3 セグメント損益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	1,188百万円	1,282百万円